

議案第 8 6 号

令和 6 年度五島市一般会計歳入歳出決算教育福祉分科会長報告

(令和 7 年 1 1 月 2 5 日報告)

おはようございます。

教育福祉分科会に審査を付託された、議案第 8 6 号 令和 6 年度五島市一般会計歳入歳出決算中、当分科会関係部分につきましては、去る 1 1 月 4 日及び 5 日の 2 日間、第 2 委員会室において慎重な審査を行いましたので、その概要と指摘要望事項について報告いたします。

まず、**こども未来課** 関係で、ファミリー・サポート・センター事業において、依頼会員に対し提供会員が少ない要因について質疑がなされました。

理事者によりますと、提供会員については高齢化等による慢性的な人材不足により増員につながっていない状況である。また、依頼会員の方が大幅に多い理由については、出産後の保健師の面談時にほとんどの人に登録していただいているため多くなっている部分もあり、実利用者数とは乖離した人数となっている。現時点において依頼会員から求められている部分については、しっかり対応できている状況であるとの答弁でありました。

同じく、**こども未来課** 関係で、若者めぐりあい交流イベント事業において、カップリング数に対して成婚数が少ないことから、成婚数を増やす取組について質疑がなされました。

理事者によりますと、現在、縁結び隊の増員と活動の充実を検討しており、まずは、各支所地区に1名ずつ、今の縁結び隊のサポートをしてくれるような人材を募集し、一定の経験を踏んだ後、縁結び隊として活動できるようにしていきたいとの答弁でありました。

次に、**長寿介護課** 関係で、介護支援専門員実務研修経費補助金の実績がなかった理由について質疑がなされました。

理事者によりますと、介護支援専門員の研修は、実務経験年数や資格取得後の就業状況により細分化されており、令和6年度の実務研修については対象となる受講者がいなかったためであるとの答弁でありました。

同じく、**長寿介護課** 関係で、長寿祝金支給事業において、制度見直しによる影響額について質疑がなされました。

理事者によりますと、見直し前は88歳到達時に敬老祝金として1万円と99歳到達時に長寿祝金として5万円を支給していたが、令和5年3月の制度見直しにより、100歳到達時に5万円の長寿祝金の支給のみに変更した。これにより、令和6年度の支給実績は

1 1 0 万円となり、見直し前で算定した支給額 5 3 6 万円と比較すると、4 2 6 万円の削減になっているとの答弁でありました。

次に、**社会福祉課** 関係で、民生委員の組織状況において、欠員が生じている理由について質疑がなされました。

理事者によりますと、定年延長や定年後の就労者が多いことによる人材不足、また、地域における人間関係の希薄化^{きはく}が進んでいることもあり、町内会が候補者選定に苦慮していることが考えられるとの答弁でありました。

これに対し、定数の定め方について質疑がなされました。
理事者によりますと、定数については、県の条例で定められているが、3 年に一度の見直しの際は、市町村の意見を求められるため、今後は定数見直しも検討していきたいとの答弁でありました。

次に、**教育委員会** 関係で、教職員宿舍の設置状況において、空き家となっている住宅の一般の方への貸し出しについて質疑がなされました。

理事者によりますと、令和 4 年度に教職員住宅の方針を定め、学校が使用見込みのない空き家となった教職員住宅については、一般の方へは貸し出しを行わず、市長部局へ移管することとしており、方針

策定後は、原則一般の方への貸し出しは行っていないとの答弁でありました。

これに対し、空き家となった住宅は全て市長部局へ移管して活用できないのかとの質疑がなされました。

理事者によりますと、教職員の転勤に備え一定数は確保する必要があるため、全てを移管することはできないとの答弁でありました。

最後に、**国保健康政策課** 関係で、特定健康診査において、受診率の県内自治体との対比状況について質疑がなされました。

理事者によりますと、県内 21 市町のうち 19 番目という低い順位となっているとの答弁でありました。

これに対し、受診率を上げる取組について質疑がなされました。

理事者によりますと、受信者の中から抽選で特産品を贈呈するインセンティブ事業のほか、健康教室や個別訪問での受診勧奨などを実施し、受診率向上に努めているとの答弁でありました。

以上が審査の主な概要ですが、本案審査における各課への指摘要望事項は、

○こども未来課関係で、

「実績を伴う婚活支援に努められたい。」

○長寿介護課で、

「介護人材の育成、確保に努められたい。」

○社会福祉課で、

「民生委員の定数確保に努められたい。」

○教育委員会で、

「しま留学及び離島留学の受入れ体制の見直しに努められたい。」

○国保健康政策課で、

「健康増進及び重症化予防につながる検診等の受診率向上に努められたい。」

となっております。

以上で、教育福祉分科会の報告を終わります。